



# みなみいず 町議会だより

No. **48**号

**2012年**  
平成24. 2. 1

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂328-2 TEL0558(62)6240  
E-mail: gikaj@town.minamiizu.shizuoka.jp



みのかけ岩から昇る日の出

**12月定例会を12月7日から12月9日まで3日間の会期で開催しました。**

- 主な内容
- 議長新年の挨拶…………… 2
  - 平成23年12月定例会…………… 3～4
  - 一般質問…………… 5～13
  - 議会一口メモ、くろ潮…………… 14

## 平成23年度 12月定例会

# 一般会計・特別会計(国民健康保険・公共下水道事業 妻良漁業集落排水事業)

## ・水道事業会計補正予算可決

### 総額5,863万8千円!

(水道事業会計を除く)

一般会計..... 3,208万7千円

(児童福祉施設運営事務・観光振興事業・公共下水道事業等特別会計繰出金など)

特別会計..... 2,655万1千円

■国民健康保険..... 2,077万円 ■妻良漁業集落排水事業..... 194万円

■公共下水道事業..... 384万1千円

水道事業会計

- 収益的収支..... 2万円
- 収益的支出..... 108万1千円
- 資本的支出..... 16万5千円

全員賛成で可決

|                 |        |
|-----------------|--------|
| ○南伊豆町毛倉野163番地の3 | 鈴木 傅氏  |
| ○南伊豆町上小野483番地   | 杉浦 健司氏 |
| ○南伊豆町下小野149番地の3 | 西辻 榮一氏 |
| ○南伊豆町青野192番地    | 山本 雅英氏 |
| ○南伊豆町下小野896番地   | 土屋 政博氏 |
| ○南伊豆町市之瀬24番地    | 下村 和雄氏 |
| ○南伊豆町蛇石112番地    | 佐藤 守氏  |

▼南伊豆町南上財産区管理委员会委员の選任について

### ①人事案件



## 新年のご挨拶

南伊豆町議会議長 梅本和熙

平成24年辰年―輝かしい新春明けましておめでとうございます。

昨年は3・11東日本大震災に始まり、ギリシャの財政破綻による欧州の経済危機、そして北朝鮮の金正日の死去等社会不安にいとまのない年でした。国内状況では、少子高齢化社会のもたらす年金問題や、社会保障費の増大などで消費税率をあげる方向で議論が進んでいます。

正月早々に暗い話ばかりで申し訳ありませんが、今年も昨年と同様の年になるのかなと思われます。

我が町に目を向ければ、今年は水道料金の値上げを考えなければならない状況となりました。

ただ、我が町に於いては明るい話題として新庁舎が完成し、認定こども園も完成します。さらに、石廊崎問題も今年は解決するものと確信しております。

議会としては議会報告会の開催や、諸団体・各階各層・各世代の人と議論する場としての一般会議を開催し、町民の皆様との対話を通じて、開かれた信頼される議会を目指します。

町民の皆様のご意見・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、町民の皆様の益々のご多幸とご健康を祈念し、新年の挨拶と致します。

## ② 条例制定・改正

▼南伊豆町役場の位置を定める条例の一部を改正する条例制定について  
全員賛成で可決

▼南伊豆町公告式条例の一部を改正する条例制定について  
全員賛成で可決

▼南伊豆町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例制定について  
全員賛成で可決

▼南伊豆町立幼稚園保育料徴収条例制定について  
全員賛成で可決

▼南伊豆町立小、中学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例制定について  
全員賛成で可決

▼南伊豆郷土館設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について  
全員賛成で可決

▼南伊豆町立保育所条例の一部を改正する条例制定について  
全員賛成で可決

▼弓ヶ浜温泉公衆浴場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について  
全員賛成で可決

▼南伊豆町営温泉銀の湯会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について  
全員賛成で可決

▼賀茂地区障害者計画等策定・推進協議会規約の一部を変更する規約制定について  
全員賛成で可決

▼南伊豆町立地域子育て支援センター条例制定について  
全員賛成で可決

▼南伊豆町立認定こども園条例制定について  
全員賛成で可決

▼南伊豆町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について  
賛成9、反対1で可決

## ● 一般質問

# 町長に聞きました



渡辺 嘉郎 議員

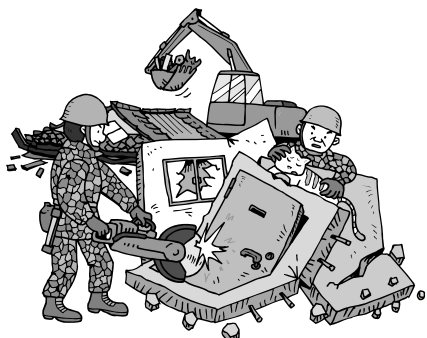
## 東日本大震災の 瓦れき受け入れについて

**質問** 町議会は10名で11月8、9、10日の3日間東北陸前高田市の方へ、視察と草刈りボランティアに行つてまいりましたが、陸前高田市に限らず海岸沿、何キロもある町が自然の津波の力で、全滅の爪跡を目で見て肌で感じてきましたが、そんな中福島原発の事故の後始末の瓦れき受け入れ、やはり痛みは国民すべての方で、分け合つて行く事が大事だと思います。全国都道府県で検討、受け

入れをして行く方向で進めてはいますが、当町の受け入れの考え方を町長にお伺いします。

**町長** 国をあげ復興に向けて取り組んでいます。今、9ヶ月経過していますが、状況が続いていますが、この瓦れきの受け入れでございまして、各市町村会と県と連携を取りながら、放射能の汚染の調査の結果、町民のご理解を得られるなら、議会の皆さんと一緒に

進めてまいりたいと思います。最終処分先の群馬県の草津又業者の了解の問題等々、解決に向けて取り組んでいきたいという思いはしております。



**質問** 町長の考え方は理解できました。ぜひ国、県、各市町村の動向を見ながら、放射能の汚染の調査の結果を良く見据えて町民及び子供達の将来に遺恨を遺す事のないよう、十分に検討して行く事を要望して次の質問に移ります。24年度予算編成についてお伺いいたします。町長の行政報告の中にもありましたが、JRの協力のもと伊勢海老号の誘客、商工会との連携での南

伊豆プレミアム商品券の販売等々が、非常に良い成果を得たとの報告がありましたが、私もこのことは一定の評価はしたいと思っています。又JRさん、商工会さんの協力、努力に対し感謝を申し上げます。そんな中主要事業の庁舎建設、認定こども園の建設も今年度末をもって終了しますが、来年度の予算編成ですが、景気対策の事業は考えているのか伺いたい。

**町長** ここの数年の経済の低迷を見ますと、民間の厳しさは理解しているつもりです。景気対策を踏まえ公平性、税収の確保に一層努めながら、予算規模の小さな町であり多額の予算を公共工事に投入できない中、地域活性化交付金及び各種交付金等々を考え、予算編成に取り組む思いです。

**質問** 経済状況が先行き不透明な中町税収も厳しい折、予算編成が難しいのはわかりますが、景気対策等々の主要事業に加納をはじめ町

内の町営住宅の移設と整備事業を地震対策の一環と考え一歩踏み出しているかがですか。

**町長** 定住促進、地震対策、景気対策等々、安心安全な町づくりの考え方のもと、検討委員会を立ち上げ進めて行くつもりです。

**質問** 経済、景気対策は町の将来を左右する今後大事な税収の基でありますので、景気対策を各分野の主要事業に掲げ、24年度の予算編成に全力を投入し取り組んで行く考えを、町長をはじめ町執行部に要望し質問を終わります。







宮田和彦 議員

## 防災対策について

**質問** 議員有志で、岩手県陸前高田市へ行き、ボランティア活動に参加させて頂き、地元の方にお話を、お聞きしたところ、ここまで津波が来るとは思わなかったこと、避難場所で大勢の方が津波にのまれたこと等を、話されました。帰り際に、「亡くなった人達の分までやる。それが残された者の務めだ。」と涙ながらにおっしゃっていたことが今も心に残っています。現地に行き、自分のまなこで見、耳で聞き、肌で感じるこ

うがいかに大切であるか、改めて肝に銘じた次第です。東日本大震災は日中でしたが、自然災害は昼夜、何時、起こるかわかりません。真夜中に地震、津波等が起きることも大いに予想される。住民、観光客の夜の間の安全な避難誘導に停電時でも発光する太陽光を利用した誘導標識、照明設備を求めたいが、その考えはあるか。

**町長** 安全かつ迅速な避難誘導ができるよう、地元と協議しながら検討します。

また、太陽光等を吸収し暗闇で長時間発光する蓄光性等の使用も検討したいと考えています。

## 備蓄状況について

**質問** 先の震災では、自衛隊が救助に来るまで、10日間も要した地域もあったと報道されていた。同様な震災が起こった時、我が町の地理的条件を考えると救助が来るまでかなりの時間を要する。町では飲料水、食糧、テント、毛布、生理用品、紙の下着、粉ミルク、離乳食、ポット、乳幼児や介護が必要な方の紙おむつ、介護士が使用するビニール手袋等、必要な備えがあるか。

**町長** 非常食1万3千食、毛布2千枚、水480リットル、ペットボトル2万4千512本、今年度中に非常食を1万2千食分追加します。町民の皆様にも自助、共助の観点から食料、医薬品の持ち出しをお願いします。

## 防災教育について

**質問** 震災に遭われた岩手県釜石市の児童生徒は、ほぼ全員が逃げ延びたと聞いた。その理由は、日頃から防災教育に取り組み、子供達にも登下校時の避難計画も立てさせ、津波の脅威を学ぶための授業も増やしたと言う。小中学校では、どのような防災教育をしているのか。

**教育長** 津波に対する訓練は昨年まで行われていました。これからは、防災、危機管理職員、教育委員会、学校職員が連携し、地震、津波対策に努めます。



## 町民救命士について

**質問** 救命率向上の為、消防署と連携し応急実技の習得に積極的に取り組む考え

はあるか。

**町長** 町民で応急手当ができる様、啓蒙し資格が取得できる様に考えています。

## 観光戦略について

**質問** 伊豆の観光におけるジオパークの位置づけと観光協会局長の一般公募についての考えはあるか。

**町長** ジオパークが観光振興に寄与するよう取り組んでいきます。公募は今後の課題として取り組んでいきたいと思っています。

## 共立湊病院について

**質問** 病院の収支はどの様になっているか。

**町長** 上半期分で約1億9千万円の損失がでています。

**質問** 半年で1億9千万円の赤字である。町としての補てんはどのくらいか。

**町長** 組合の留保資金で補てんするので、町の負担はありません。

## 地熱の現況調査

**質問** 12月1日の伊豆新聞に「温泉と地熱発電の共生とそれを目的としたボーリング調査」の記事が掲載された。科学的に解析する今回の調査にどんな期待を持っているか。

**町長** この事業は独立行政法人産業技術総合研究所が環境省から委託を受けて、法的手続を経て、地質や温度分布を調査して、本泉涌出メカニズムと地熱資源の広がり、規模及び地熱構造を改善する目的で実施をされているものです。有効な地下資源の存在が解明されれば、町のために活用できることになり、次世代に引き継ぐ大きな財産になります。

## 不妊治療の

## 補助金制度

**質問** 現在、不妊治療の問い合わせはどのくらいある

か。言い難いことでなかなか言えない状況があると聞く。実際の状況としてそのような雰囲気を感じたことはないか。

**健康福祉課長** 問い合わせは年間数件、身近でも実際には不妊治療で悩む姿は見ており、雰囲気は感じていません。

**質問** 河津町では6月14日の議会定例会で不妊治療助成に取組むと発表した。当町はどう考えるか。

**町長** 不妊治療は県内では市町の単独事業として助成する自治体が増加傾向にあります。本町でも前向きに検討したいです。



## 町内各地の祭典保存のためのサミット開催



加畑 毅 議員

**質問** 9月議会定例会で町長は伝統ある祭は町の文化であり、残すべきものと答弁したがその気持ちは今でも変りないか。祭は単なる賑やかではなく地域政策として捉えるべき。祭で生ずる住民の信頼関係が結果的に地域のネットワークを形成する。町内各地の祭典執行部の方々に一堂に集まっていたとき、意見交換のサミットを開催したい。年明けに新庁舎で開催は可能か。

**町長** 祭は各地それぞれ歴史あるもので、これを傳承することが我々の務めだと思っています。祭に対する私の認識は変わっていません。町内各地の祭典保存のためのサミット開催は各地、祭の抱えている問題点等も含めての提案だと思いますが、祭典というのは神事ですので、その面で検討が必要です。行政が関わると宗教的な問題もあるので難しい面もありますが、加畑議員の言われる趣旨は非常に大事なことで、今後も検討すべ



稲葉勝男 議員

## 防災対策への考えを問う 防災計画の見直しは

めていく。

**質問** 国は防災基本計画修正素案を発表し、海沿いなど津波到達時間が短い地域はおおむね5分以内に徒歩で避難できるまちづくりを目指すとしている。国県の防災計画に準拠と別に、危機管理の上からも海岸地区へ避難路や避難タワー等の設置を早急に図るべきではないか。

**町長** 県が進める第3次被害想定の見直しを受け整合を図り、5分以内の避難を考え地域の実情に沿って進

**総務課長** 津波に対するシミュレーションが錯綜しており国県の計画と整合を図り、自主防と避難場所の再検討を早急に行う。

**質問** 訓練の重要性から、各自主防災会の訓練内容に行政主導によるメニューを考えているのか。

**総務課長** 夜間、雨天、台風等最悪な状況下での訓練を想定し自主防災会と協議

する。

**質問** 24年度予算編成で、国県に頼らない町単独での防災対策を計上したのか。

**総務課長** すべて町単独では無いが、津波避難対策、孤立予想集落対策、非常食等の備蓄品や消防車輛の購入を計上予定である。

## 医療・福祉 施設の 防災対策は

**質問** 共立湊病院となぎさ園や、来年5月開院を予定している新共立病院の防災対策をどのように考えるのか。

**町長** 新共立病院の防災対策は津波避難マニュアルを整備し、警察、消防、下田市役所防災担当部署と連携を図り、賀茂地域の災害時拠点病院としての機能維持に努めていく。

**健康福祉課長** なぎさ園は高齢者福祉施設の県民災害

対策マニュアルに基づき、定期的に避難、救出訓練を実施している。

## 限界集落の 生活環境 整備は

**質問** 町内4地区の限界集落の中で13世帯、高齢化率70%の古田地区における簡易水道と道路整備への考えは。

**町長** 地区で管理している簡易水道への補助制度等対応を検討する。

**上下水道課長** 水道法に基づく管理は行っている。今後の対応を検討する。

**建設課長** 改良工事の計画は無いが現状の維持管理を徹底して行う。



## 身体障害者と 緊急通報システムの 現状は

**質問** 聾啞者、病気で声帯を失った方への緊急通報システムはどのようなものか。

## 共立病院の 経営状況は

**質問** 上半期での収支状況を報告されたい。

**町長** 1億9千万円の赤字である。予算措置は9千万円を内部留保資金で充当し、過不足分と今後予想される赤字に対しても、構成市町の負担が無いよう内部留保資金で対応できるよう検討する。

11%程賄っているが。

**総務課長** その通りです。

## 水道事業会計に ついて

**質問** 1市5町で、当町だけが繰越損失であるが。

**上下水道課長** 水道料金が見合っていない。今、水道料金等審議会で料金改定を行っています。

**質問** 企業債利息額を減額させる方策は。

**上下水道課長** 企業債の借り換えは禁止で、方策等は、今の所ありません。

**質問** 建設仮勘定が異常に高額である理由は。そして減価償却資産と合わせて、明細書は常時閲覧可能か。

**上下水道課長** 当勘定の大半は、大師ダムに伴う支出によるものです。又減価償却資産と合わせて、明細書は閲覧可能です。

## 石廊崎地区の整備・開発



吉川映治 議員

**質問** 今も続く有志による元気発信の会の活動について、どの様に思うか。

**町長** 当該景勝地を守るべく、ボランティアに取り組んでおられる皆様には、頭の下がる思いです。

**質問** 11月29日に和解に向けての交渉があったが、その内容は。

**町長** 未だごでお話できる内容は、ありません。

**質問** 原告側所有の山林から出る泥水等の予防策で、砂防ダムの設置の許可を取り付けてほしいが。

**町長** 一部和解の内容に入りますので、答弁を控えさせていただきます。

**質問** 当地区周辺、特に県道沿いの一部区域内のごみ不法投棄に困っているが。

**町民課長** 担当の係に、至急確認させます。

## 南伊豆町一般会計 収支及び財政状況 について

**質問** 当町の財政力指数は

毎年下がっているが。

**総務課長** 当指数は3ヶ年平均ですので、単純には比較しえませんが、又、地方交付税で補っています。

**質問** 今後、さらに基準財政支出額を抑えなければならぬが、この点を先日掲載された新聞記事と関連して、答弁してほしい。

**町長** 予算とは、単年で区切るものではなく、中長期的な見通しを立てた上で計画していく主旨の話をしました。

**質問** 再度、民間による事業仕分けが有効であると思うが。

**町長** 種々の継続事業であっても、再検討して参ります。

**総務課長** 民間による事業仕分けは、考えておりません。

**質問** 経常収支比率について、臨時債で義務的支出を





横 嶋 隆 二 議員

## 平成24年度予算の基本方針

**質問** 今日の世界経済は金融不況と過剰生産恐慌の状況にあり、1%の富裕と99%の貧困が存在する。金融界の大御所ジョージ・マグナス氏が、現状を打破するには、資本主義の矛盾、資本主義そのものを知る必要がある。そのためマルクスを読めといている。今日日本の政府は、東日本大震災復興と言いつつ増税を国民に押しつける一方、大企業減税で国民生活に逆行している。こういう状況で平成24年度予算編成の基本的な姿勢は。

**町長** 社会情勢、国・県の動きをよく頭に入れ、新年度予算編成に臨む。第5次の総合計画及び過疎地域自立促進計画等を核として、自立のまちづくり実現のために、めり張りある予算編成をする。3・11の大地震の教訓を防災・経済対策に重点的に取り上げ、即効性のある事業を検討する。

**総務課長** 防災関係は、最優先・緊急課題と思う。津波対策、避難対策等具体的

メニューの予算化を検討中。来年度経済対策は今までにない新規起業家の応援。小規模でも起業者を育てることで町の発展を考えていく。

**質問** 「週刊ダイヤモンド」12月10日号に「へき地医療の星が首都圏進出へ変質、ジレンマに陥る地域医療振興協会」と記事が載った。医師確保が非常に難しい中、地域医療振興協会自身も、都市部に進出しているが非常に医師確保が難しい。協会が撤退した困難な中SMAが、高齢者人口が多い賀茂地域で脳神経外科や循環器を重視し歓迎されている。この姿勢を、行政・議会はしっかりと認識しバックアップすべきだ。防災計画見直しの観点は。認定こども園の園児送迎バスについて提案する。子育て支援の問題で、県知事が中学卒業まで通院医療費負担を表明し、その分町負担が軽減する。南伊豆町には保育園があるからと移住している。子育て世帯の支援の為、全町送迎を前向きに検討すべき。



**町長** 新病院ができると跡地に診療所ができる。新病院の体制は、医師確保が非常に難しい時代SMAが限られた短い期間の中懸命に、医師確保に努めている。我々は県と連携をとりこれをバックアップする。現在非常勤医師を含め14名という医師の状況。認定こども園の送迎バスは保護者の声をよく聞き検討する。

地域コミュニティの防災対策は、区・班の組織力が重要。研修会・訓練の充実強化を図る。防災講演会は、県内大学等の研究者を招き検討する。訓練は、津波避難訓練を一層充実する。

## スポーツでまちづくり

**質問** スポーツは子育てし地域を守っていく世代の大きな励まし、青壮年の生きがい、将来にわたり健康づくりになる。町長杯等冠大会を積極的に企画しスポーツを生かしたまちづくりを展開すべき。差田グラウンドを計画的に整備し経済対策としても検討すべき。

**町長** スポーツは健康づくり、人間形成面で、大いに奨励をしていきたい。

町長杯は関係団体の意向をよく把握して検討する。差田グラウンドは将来へ向けて中・長期的な視点で整備活用策を検討する。



保に向けて、懸命に努力している。

**質問** 診療所へのマイクロバスの送迎は。

**町長** 診療所も含めて、事業は継続していく。

## 町有地利活用に ついて

**質問** 町有地利活用プロジェクトチームの会議はどのような内容か。

**企画調整課長** 副町長をリーダーとして、課長、局長、室長を構成員とし、町有地、町有施設を含め、有効な利活用について協議している。

**質問** 吉祥町有地などを含め、有効利用をお願いしたい。



## 共立病院について

だけでなく、町民上げて観光を念頭に置きながら進めるべきだと基本的に考えている。

**質問** 現在の病院の診療状況と新しい診療所への町長の考えは。

**町長** 24時間での救急搬送受け入れ体制が維持されている。診療所の開院と同時に期のオープンを目指している。なごさ園に隣接した配置として、内科を主体とした外来訪問診療が基本、本院と緊密な医療連携のもと、整形外科などの受診者の対応も可能となるよう協議してまいりたい。

**質問** 新病院、開院まで6ヶ月、医療スタッフが充分に確保できているのか。

**町長** 新病院の開院に伴う指定管理者、指定申請書に示された、人員配置計画に基づいて、スタッフ等の確

## 観光について



長田美喜彦 議員

**質問** 伊勢海老号の費用対効果は、また、観光客の反応はどのようだったのか。

**産業観光課長** 大変好評であった。300名が参加し、実質920万ぐらいで間接効果は、JR東日本全社での宣伝効果など波及効果である。

**質問** みなみの桜と菜の花まつりの中で、プラス伊勢海老号というような考え方を協会との話し合いは。

**町長** 伊勢海老号はJR東

日本の協力を得ての事業、観光振興ということで協力が得られるならば、前向きに考えていきたい。

**質問** ジオパークをどのように観光に結びつけていくのか。

**町長** 7市6町、伊豆半島ジオパーク推進協議会で取り組んでいる。伊豆半島全体、静岡県を上げて設定に向け取り組んでいく。

**産業観光課長** ジオサイト

**質問** 小学生がジオサイトの一部である仲木、妻良などを見学したと聞いている。伊豆に住んでいる子供たちにも自然の雄大さを教え、後世に残すことも観光立町の務めではないか。

**教育長** 南中小学校の生徒が、この海岸線を有識者の案内、説明を聞きながら、「おおすげえ」と言うような感嘆の声を上げた。実は私も見たとき「すげえ」と思った。ふだん何気なく目にしている自然、その原理を知ることによって驚き、同時に学問との知識にもなる。当然学校もそう言う流れになっていく。

**質問** 伊豆の自然を充分に教え、郷土愛という、愛情を大人になっても、伊豆のすばらしさを伝えてもらうのが観光立町である我が町の基本ではないか。

**町長** 観光に従事する町民



谷 正 議員

## 観光について

### 観光の現状と将来ビジョンは

**質問** リーマンショック、東日本大震災、直近の円高などで国民は財布のひもを締めざるを得ない状況となっている。また日本各地では観光を一つの産業と捉え、各種の施設やイベントで誘客を図っている。観光を主たる産業と位置付けている町長の現状認識と将来ビジョンを伺いたい。

**町長** 全国各地で観光地化が進んでおり、観光立町としての対応が求められる。観光客の入り込みも非常に

厳しい結果を示しており、個別化の時代に入ってきて、今後さらに顕著になると言われている。この状況に対処すべく通年型の観光地を目指し、交流客数を増やし、消費の拡大や雇用の促進で活性化を図る。

### 観光資源等の再構築、再発見は

**質問** 南伊豆町の歴史的背景、温泉、樹木、春夏秋冬

の景色や自然環境は現在の観光客の望む観光資源が多数存在しているがその価値を十分生かしていない。それらを実効性あるものにする施策等があれば答弁を。

**町長** まだ理解等がされていない面があると思う。PRの面でも検討を要すると思っている。最大の観光資源である海の活用、伊豆半島ジオパーク構想、青野川河口のソメイヨシノ、優れた仏像等の文化財も観光資源として活性化に結び付けたい。

**質問** それらの埋もれた観光資源を発掘するために本県に関係がある写真家の白旗史朗氏を委員長に迎え、一定の期間で郷土芸能等、あらゆるテーマで写真展等を開催する考えは。

**町長** 写真展による発掘等は今後検討し、活用したい。



### 周遊道路の障害物について

**質問** 57kmに及ぶ海岸線に沿って周遊道路が走っているが、その道路は樹木が生い茂り、観光の妨げになっている。色々、解決しなければならぬ問題もあるが、整備・解決する考えは。

**町長** 自然公園法や所有者の問題等々あるが、景観を堪能していただくために関係方面と協議・検討する。

### 災害について

3・11を起点としての災害意識について

**質問**、答弁があった。  
3・11からの南伊豆町の災害対策について

**質問**、答弁があった。  
災害時における緊急対策等について

**質問**、答弁があった。  
災害危険箇所等の把握と今後の対策

**質問**し、答弁があった。

### 災害弱者等の対策は

**質問** 観光客を含めた災害弱者対策は。

**答弁** 賀茂支援局を事務局とし、東伊豆町・南伊豆町まで滞留を想定し、非常時食糧・宿泊費で対応したい。弓ヶ浜の避難距離が長いとの指摘については、津波避難タワーの設置等を今後は検討していく。休暇村の避難階段が狭い問題は、可能であれば働きかけをする。



### ジオパークについて

**質問** 県のジオパーク構想で、町の推進ぐあいは。

**産業観光課長** 平成24年度日本ジオパークの認定を目指し、平成25年から26年度、世界ジオパークに認定申請する運び。町は夏にガイド養成講座の開催、候補地に説明看板等を設置など、観光振興に寄与するよう取り組みを進めたい。

**質問** ジオパークを推進する新たな組織も必要では。

**産業観光課長** ジオパークの講習会を、県、町、NPO伊豆未来塾、観光協会等で開催しており、今後協議会等と進めていきたい。

### 産業振興の取り組み

**質問** 町場の企業、個人事業者がこれから頑張っていくための考えは。

**町長** 緊急経済支援対策事業で融資に対する利子補給誘客事業支援、プレミアム商品券発行事業、財政の許される範囲内で取り組み支援をしている。今後は緊急雇用創出事業などで内需拡大を図り、新商品開発、販売開拓事業への支援を検討し、経済浮揚を図りたい。

**質問** 一次産業が活発化している町は観光にも魅力がある、一次産業を活発化させるための方策等は。

**産業観光課長** 関係団体などと連携し、新規就業者の受け入れ及び人材育成支援、利子補給など、振興を図ってまいりたい。

**質問** この昭和の庁舎、この議場で多くの先輩議員、町当局の皆さん、町のために一生懸命ここで議論されてきた。どうもありがとうございました。

## 防災対策について



清水 清一 議員

**質問** 学校施設の防災機能向上、避難所の維持運営対策を強化していくべきだが。

**町長** 学校施設の耐震対策は終了しており、今後は避難所の運営研修会を随時開催するとともに、自主防災会と組織と学校等々の連携も図り、対策を進めたい。

**質問** 避難所として問題になってくるのは、備蓄品あるいは水の問題、考え方は。

**総務課長** 順次備蓄を増や

したい。各学校にはトントタンク、屋上の高架水槽等があり、防災倉庫の中に手動の、ろ水器が入っている。

**質問** 水とかの備蓄品は各施設に分散してあるのか。

**総務課長** 差田の防災倉庫とか広域の防災避難所を中心に置いている。孤立予想地区は毛布、緊急のタオルセット、ある程度の数は事前に配布済み。当面は、何とかしのげる部分もある。



## 新しい庁舎の議場です！



会議中は1Fロビーのテレビで議場の様子を見ることができます。

### 議会一ロメ

#### 議員の職責

議員は、住民から選ばれ、その代表者として議会の構成員となる。議員の一言一句は、とりもなおさず住民の意見であり、住民からの声であるというべきであり、議員が行う質問や質疑・討論は、同時に住民の疑問であり意見であり、表決において投じる一票は、住民の立場に立つての真剣な一票でなければならない。その為に議員は常に住民

の中に飛び込み、住民との対話を重ね、住民の悩みと声を汲み取りながら議論を重ね調査研究を進め、住民全体の福祉向上と地域社会の活力のある発展を目指して時には住民に訴え、時には住民を指導して、その実現に積極的に努力することが大事である。そして、議会が持つ二つの使命、「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」を、完全に達成できるように議会の一員として懸命に努力することが議員の職責である。

## 議会を聴きにきませんか

議会は町の予算や身近な問題などを話し合う大切な会議です。あなたも議会を傍聴してみませんか？

1年に4回の定例会が開かれます。

- 3月定例会（新年度の町予算の審議が主です）
- 6月定例会（町政の進捗状況などです）
- 9月定例会（前年度の町会計の決算審議が主です）
- 12月定例会（町事業の進捗状況の確認などです）

手続きは当日、住所、氏名等の記載で傍聴できます。午前9時30分から開会します。

●お問い合わせは議会事務局へ TEL05558-6216240



3月11日に起きた、東日本大震災。そして原発神話の崩壊と、日本だけではなく、世界中に大きな影響を与え、又、それに加え円高、ドル安にギリシャの財政赤字でのEU諸国のユーロの下落、又、アラブの春における政権の交代。地球丸ごと変調の年であった。

南伊豆の観光も計画停電と言う初めての経験で衰退。日本全体の観光も12%も昨年に比べ落ちこんでしまった。2月からのみなみの桜と菜の花まつりに昨年並みの観光客が来てくれる事を願いたいものです。そして、平成24年が平和で穏やかな年でありますように。

(長)